

資料5-1

下水道技術開発会議の今年度の取組方針(案)

## 今年度(令和5年度)下水道技術開発会議の検討課題

- ◆ **活動の柱①「技術ニーズの把握と発信」(スライドP3)**
  - ・課題解決技術支援ツール(試行版)のR4都市ヒアリング調査結果を踏まえた改良(資料-4参照)
  - ・各種会議(本省、地方)における技術的課題、技術情報の収集 等
- ◆ **活動の柱②「技術シーズの把握と発信」(スライドP4)**
  - ・B-DASH等の技術提案(令和6年度公募分)の募集(資料-2参照)
- ◆ **活動の柱③「ニーズとシーズの架け橋」(スライドP5)**
  - ・R4に調査した新技術の導入実績や新マニュアル・ガイドライン類の活用状況の情報を、課題解決技術支援ツール(試行版)に追加し、先行導入事例等について検索できるよう改良(資料-4参照)
  - ・意見交換の場の提供に関する提案、連携
- ◆ **活動の柱④「国などの技術情報の共有」(スライドP6)**
  - ・B-DASH技術の情報発信(普及展開状況調査、ガイドラインのフォローアップ、技術情報資料の作成・更新)
- ◆ **活動の柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援」(スライドP7)**
  - ・脱炭素目標達成への課題対応検討(ロードマップのフォロー、N<sub>2</sub>O調査方法等の検討他)(資料5-2参照)
  - ・課題解決技術支援ツール(試行版)の改良後、中小都市に積極的に広報し、活用を促進
- ◆ **活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」(スライドP7)**
  - ・ロードマップの全体的見直し
  - ・ロードマップ重点課題の選定

# 今年度の取組方針 #1

---

## ◆活動の柱①「技術ニーズの把握と発信」

- ◆ 課題解決技術支援ツール(試行版)を試用した都市に対するR4ヒアリング調査結果を踏まえたツールの改良(資料-4参照)
  
- ◆ 各種会議(本省・地方)における技術的課題、技術情報の収集
  - ✓ 下水道主管課長会議
  - ✓ 下水道技術開発連絡会議
  - ✓ 大都市下水道計画研究会
  - ✓ 下水道研究会議等の提案議題を対象に情報収集を実施

## 今年度の取組方針 #2

### ◆活動の柱②「技術シーズの把握と発信」

#### ◆ B-DASH等の技術提案の募集(R6年度公募分)

##### 下水道革新的技術の実証テーマ等の募集(参考資料5参照)

##### ✓ 技術の熟度に応じて以下の4段階の公募分類で技術テーマを募集

公募①-1: B-DASH実規模実証テーマ(革新的技術)

⇒直ちに実規模で実証できる段階にあり、下水道事業に新たな付加価値を創造するなどの革新性の高い技術

公募①-2: B-DASH実規模実証テーマ(普及推進技術)

⇒有効技術であるものの、現状その普及展開が十分でないが、適用性の拡大、性能向上等の改善または普及展開上の技術課題解決によって、更なる普及展開が期待され、下水道事業の効率化に資する技術

公募②: B-DASH FS調査テーマ

⇒1~2年のFS調査実施後に、実規模実証へ移行可能な技術熟度で、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行う段階にある技術

公募③: 中長期的な技術開発テーマ

⇒下水道技術ビジョンのロードマップに掲げられた技術開発項目のうち、概ね5~6年以内に B-DASH FS 調査や他の研究開発事業(下水道応用研究、NEDO事業等)により実用化研究の段階に到達することが見込まれる要素技術等が含まれるもの。

※下水道技術ビジョンのロードマップにおける該当技術開発項目等が無い場合についても応募可能

##### ✓ 公募①及び公募②において特に提案を求める技術項目を提示

1. 肥料利用につながる技術
2. 省エネやCO<sub>2</sub>削減など脱炭素化につながる技術
3. 運転管理などの維持管理コスト縮減につながる技術
4. 老朽化対策や維持管理の効率化などストックマネジメントにつながる技術
5. 浸水対策、地震対策につながる技術(防災・減災に資する技術)

## 今年度の取組方針 #3

### ◆活動の柱③「ニーズとシーズの架け橋」

- ◆ R4に調査した新技術の導入実績や新マニュアル・ガイドライン類の活用状況の情報を、課題解決技術支援ツール(試行版)に追加し、先行導入事例等について検索できるよう改良(資料-4参照)
- ◆ 意見交換の場の提供に関する提案、連携
  - ◆ 下水道展におけるB-DASH技術に関する情報提供  
(国交省ブース展示、B-DASHガイドライン説明会開催、パネルディスカッション参加)
  - ◆ 産・学・JS等との意見交換等を通じた新技術導入推進策の検討

# 今年度の取組方針 #4

## ◆活動の柱④「国などの技術情報の共有」

### ◆ B-DASH技術の情報発信

◆ B-DASH技術の普及展開状況調査

◆ B-DASHガイドラインのフォローアップ

◆ B-DASH技術情報資料の作成・更新

B-DASH技術導入ガイドラインのポイント (適用施設規模、技術分野、適用範囲、導入効果及び導入時の留意点、導入事例等)をまとめた技術情報資料の更新

公表URL: <http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/b-dash.html>

**処理場規模、対象分野、導入効果について該当するものを分かりやすく表示**

**導入団体からのコメント、主な導入事例は、技術導入ガイドラインには無い貴重な情報**

**検討の初期段階で役立つ、技術の適用範囲や留意点を簡単に確認できる!**

**技術開発企業の連絡先があるため、最新情報の確認や技術相談が円滑に!**

## 今年度の取組方針 #5

### ◆活動の柱⑤「地方の技術開発・技術導入の支援」

- ◆ 小都市等の下水道事業をサポートする技術の開発・普及方策の検討
  - ◆ 脱炭素目標達成への課題対応検討(ロードマップのフォロー、N<sub>2</sub>O調査方法等)(資料5-2参照)
  - ◆ 課題解決技術支援ツール(試行版)の改良後、中小都市に積極的に広報し、活用を促進(資料-4参照)

### ◆活動の柱⑥「技術開発の戦略・方針の提示」

- ◆ ロードマップのフォローアップ
  - ◆ ロードマップの全体的見直し(資料6-1参照)
- ◆ 重点化して実施すべき技術開発テーマの提示
  - ◆ ロードマップ重点課題の選定(資料6-2参照)